



秋晴れ

運動会の朝。

準備された園児席に早く座るよう
に声をかける私の様子や、続々と集
まる保護者の姿に、子どもたちはい
つもと違う緊張した空気を感してい
たのだろう。いつになく静かであつ
た。

が、突然Y夫が

「みて！ キアゲハだ！」

と声をあげた。気付いた子どもたちが口々に話し始めた。

「ほんとだ！ かえつてきたのかな？」

「うんどうかい、みにきたんだよ。きつと」

私はその時初めて、よく晴れた秋の空を見上げ、ひら
ひらと舞う一匹のチョウを見た。

—— 九月の半ば。

「にわでみつけたの」とU子が持ってきたアオムシは、

全部で五匹。早速子どもたちと図鑑で調べ、キアゲハの
幼虫だと判明。三ツ葉や人參の葉を好み、むしゃむしゃ
と音を立ててよく食べる。餌を切らしては大変と、私は
休日にも心配で様子を見に行き、保護者の中には、餌の差
し入れをしてくれる人もあつた。

みんなに大事にされ、さなぎになったアオムシは、運
動会の一週間前に一匹、三日前に三匹が見事チョウに
なった。(残りの一匹はさなぎのまま越冬。翌春に羽化。)

子どもたちと一緒に、園庭の高台にチョウを放しに
行つた。高い木の幹に止まり、ぬれた羽根をいっばいに
広げ乾かす様子を見守つた。——

「あのチョウド、きつと…」

定かではない。けれど、なぜか
そう確信し、ふと、ハレの日の今
日が、「昨日、今日、明日」とつ
ながる時間の流れの中にあること
を思つた。

(幼稚園勤務)



怒ると 黄色いつゝと出る。
誰かさんに そっくり...